



関川村の中心部の旧米沢街道沿いには、十八世紀の町並みが現在も残っており、国の重要文化財にも指定されている。その中の渡辺邸にまつわる大里峠の伝説は今に語り継がれ、地元の中学生の手で紙芝居も制作されている。

「村道御野立・丸山公園線」は、こうした地域の文化的要素を取り入れ、住民に親しまれる道路づくりをめざして整備を行ったものである。

沿道には、渡辺邸の土蔵を模した土蔵風案内塔、土蔵と丸山大橋のアーチを模したアーチ型案内塔、村の特産品である猫ちぐらのオブジェなどが設置され、案内塔の背面には、大里峠伝説の紙芝居パネルが設置されている。また、フラワーパークやミニパークもつくられており、住民の憩いの場として親しまれている。

40 村道御野立・丸山公園線

おの
だち
まる
やま

DATA・BOARD④

- ①新潟県岩船郡関川村大字下川口
- ②延長：500m、幅員：10m
- ③アーチ型案内塔、土蔵風案内塔、オブジェ、ポケットスペース、紙芝居パネル付き防護柵、ミニパーク、駐車場、植栽
- ④FRP、アルミ鋳物、カラー舗装材ほか

